

やさい週間情報(第30号)

平成29年11月2日(木)

全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	4,000	4,000	-	1本売り (2L・L) 398~298円	<p>本県産中心の販売となっている。</p> <p>北海道産の出荷が終了し、本県産の出荷も終盤となり、ながいも全般の流通量は少なくなっている。ながいも自体の売価が下がっていることや台風の影響による他野菜の出回りの減少と価格高騰から、ながいもの販売環境は良くなってきており特に2L、L級を中心に引合いが強まっている。</p> <p>次週後半からは北海道29年産の販売がスタートするため、新物への切り替えは徐々に進み、28年産については販売苦戦が見込まれる。そのため新年度産への影響がないよう柔軟な価格設定をしながら引き続き、荷動きの良化に努める。</p>
		A3L	4,000	4,000			
		A2L	3,700~3,500	3,700~3,500			
		A L	3,700~3,500	3,700~3,500			
		A M	3,200	3,200			
		B4L	3,700~3,500	3,700~3,500			
		B3L	3,700~3,500	3,700~3,500			
		B2L	3,500~3,300	3,500~3,300			
		B L	3,500~3,300	3,500~3,300			
		B M	3,000	3,000			
		C2L	2,800~2,500	2,800~2,500			
		C L	2,500~2,300	2,500~2,300			
名古屋	本県産 北海道産	A4L	4,000~	4,000~		1本売り 398~298円	<p>本県産・北海道産中心の販売となっている。</p> <p>本県産・北海道産ともに終盤となり、全体の流通量も減少している中、末端の売価の低下もあり、A・B品を中心に1本売り・カット売りともに安定した引合いがあり、価格は保合での販売となっている。C品については、流通量の多さと品質懸念から弱めの販売が続いている。</p> <p>来週以降については、流通量が減少する中、価格は概ね保合での販売が見込まれる。新年産への切替えに向けて、的確な産地情報の提供が望まれる。</p>
		A3L	4,000~	4,000~			
		A2L	3,800~	3,800~			
		A L	3,500~	3,500~			
		A M	3,300~	3,300~			
		B4L	3,700~	3,700~			
		B3L	3,700~	3,700~			
		B2L	3,500~	3,500~			
		B L	3,300~	3,300~			
		B M	2,800~	2,800~			
		C2L	2,500~	2,500~			
		C L	2,000~	2,000~			

品名 ながいも No.2

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	4,500~4,000 4,500~4,000 4,200~3,800 3,600~ 3,600~ 3,600~ 3,300~3,000 3,000~ 2,500~ 2,000~	4,000~ 4,000~ 3,800~ 3,600~ 3,500~ 3,500~ 3,000~ 2,800~ 2,500~ 2,000~		カット 88~59円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 青果会社によって要望する階級は異なるものの、A B品の注文が増えてきており、C品も価格を下げたことで徐々に動きが出てきていることから、総体的に価格は下げ止まりつつある。 また、北海道産については、業者物を中心に28年産の入荷が続いており、29年産は11/4のJA帯広かわにしから開始される見込みとなっている。 来週については、北海道産の29年産が管内に順次入荷されるものの、新物にアクを懸念する意向もあるため、価格は概ね保合で推移する見込み。
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	4,000~3,500 4,000~3,500 3,500~3,300 3,300~3,000 3,500~3,000 3,500~3,000 3,200~3,000 3,000~2,800 2,300~2,000	4,000~3,500 4,000~3,500 3,500~3,300 3,300~3,000 3,500~3,000 3,500~3,000 3,200~3,000 3,000~2,800 2,300~2,000		カット 100g 78~58円	ながいも全般に、今週の流通量が減となった影響により、流通在庫が軽減されてきており、価格も下げ止まりとなっている。 北海道産帯広川西の九州管内への入荷は、来週からの予定となっており、28年産の品質懸念がある中で、仲卸が一気に29年産にシフトしていくことも考えられる。 来週で本県産も28年産が概ね終了となり、量販店の売価も下がっていることから、柔軟な価格帯によって更に市場在庫の軽減を図り、次年産の売場確保に努める。
東北	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	4,000~ 4,000~ 4,000~3,500 3,700~3,500 3,700~3,500 3,700~3,500 3,500~3,200 3,200~3,000 2,800~2,500 2,500~2,400	4,000~ 4,000~ 4,000~3,500 3,700~3,500 3,700~3,500 3,700~3,500 3,500~3,200 3,200~3,000 2,800~2,500 2,500~2,400	なし	1本売り 398~350円 カット 100g 84~78円	本県産中心の販売。 28年産の販売終盤を迎え、入荷量も減少しつつあり、市況は保合推移となっている。ただ、品質不良の懸念と、気温の低下による消費低迷から、荷動きは鈍い。 来週についても、東北市場への入荷は変わらないことから、市況は弱保合推移の見込み。

品名 にんにく No.1

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L A M	2,500~2,300 2,200~2,000 1,800~1,700	2,300~2,200 2,000~ 1,800~1,600	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	本県産中心の販売。 本県産系統並びに商系業者の入荷が増えてきており、全体的な不足感は徐々に解消されつつある。入荷量が増えているなかでLM級を中心に荷動きはやや鈍化してきている。 量販店での売場については、輸入品の売場も拡張しており、全体的に緩慢な荷動きとなりつつある。今後は本県産の入荷が本格的になる中で、価格等も考慮しながら売場の拡張や荷動きの良化に努める。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,600~2,400 2,400~2,200 2,000~1,800 2,400~2,200 2,200~2,000 1,800~1,600	2,600~2,200 2,400~2,000 2,000~1,800 2,400~2,200 2,200~2,000 1,800~1,600		L 1 P 298~198 円	本県産中心の販売となっている。 入荷比率の低い2Lについては保合、比率の高いL・M級については、これまでの高値傾向から仲卸在庫も増えており、荷動きはやや鈍化している。 今後、冷蔵品も本格化し出荷量も増加する見込みから、各等階級とも弱含みでの販売が見込まれる。また、品質不良が散見されることから産地での選果・選別の徹底が望まれている。
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,500~2,400 2,200~2,000 1,800~	2,400~ 2,200~2,000 1,800~		L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 今週は入荷量が増えたため、継続して入荷がある青果会社では若干の在庫を持ちながらの販売となっており、価格についても弱含みでの推移となった。なお、在庫となるのはM級が最も多く、わずかではあるがL級でも同じ傾向が見え始めている。 来週については、入荷量が横ばいとなるが、弱含みで推移する見込み。
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,200~2,000 2,200~2,000 1,700~1,500	2,200~2,000 2,200~2,000 1,700~1,500			本県産の入荷量が増え始め、決して多くはないが、これまでの高値基調から荷動きが鈍くなりつつある。 また、L級を中心とした安価な転送案内も増え始め、市況との価格差から、L級は価格を若干下げた販売となっている。 今月はにんにくの流通量が増え、荷動きが一気に鈍くなることも予想されるため、流通量を見ながら徐々に価格を下げることが肝要と思われる。

品名 にんにく No.2

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産	A2L AL AM	2,600~2,500 2,400~2,200 1,800	2,600~2,400 2,300~2,100 1,800	なし	L1P 298円	本県産の入荷量が徐々に増加してきており、市況は保合推移となっているものの、荷動きは全体的に鈍くなりつつある。 来週については、本県産の入荷が増加することから市況は弱含み推移の見込み。

品名 ごぼう No.1

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 群馬県産	本県産 A2L AL AM (4K) AM	1,500~1,400 1,800~ 2,000~ 800~ 700	1,500~1,300 1,800~1,600 2,000~1,800 800~ 600		L1本 178~198円	本県産中心に北海道産、茨城産の販売となっている。 今週に入り本県産の系統物の入荷も増え始め、総体的にも増加傾向にあり、相場についてもやや弱めの展開へと変わりつつある。引き続き太物中心に荷動きは鈍く、LM級については比較的スムーズな販売となっている。 来週以降、更なる入荷増が見込まれる。そのため、宣伝会等を実施しながら消費拡大に努める。
名古屋	本県産 北海道産	AM A2M AS A2S	2,200~2,100 2,200~2,100 1,900~1,800 1,500~1,400	2,100~2,000 2,100~2,000 1,800~1,700 1,400~1,300		2M2本入 198~158円	本県産および北海道産中心の販売となっている。 各市場とも入荷増から、潤沢な出回りとなっており、やや荷動きは鈍化している。また、野菜全体の高値傾向も落ち着いたことから、ごぼうについても弱含みでの販売となった。 来週以降、さらに入荷量が増える見込みとなっており、安価な転送品の出回りも考えられることから、価格については下げ基調の展開が見込まれる。
大阪	北海道産 本県産 関東産	A3L A2L AL AM A2M AS A2S	1,400~ 1,600~1,400 1,800~ 2,000~ 2,200~ 2,000~1,800 1,600~1,500	1,400~1,200 1,500~ 1,800~1,600 2,000~1,800 2,200~2,000 1,800~ 1,500~		2Mハーフ 198円/P S1P 158円/P	北海道産・本県産・関東産の販売。 依然として北海道産の入荷は太物中心であるため太物を中心に引合いは弱い。一方でS級・2S級の細物については入荷量が少ないため引合いは強い状況となっている。 来週についても、極端な入荷量の増加はないものの、荷動きの回復は見込めず、価格は太物を中心に弱含みでの推移となる見込み。

品名 ご ぼ う No. 2

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
九州	本県産	A 2 L A L A M	1,700~1,500 2,200~2,000 2,200~2,000	1,700~1,500 2,200~2,000 2,200~2,000			加工筋に加え、量販店からも本県産の引合いが強くなっており、売場も徐々にシフトしてきている。 その中で3L・2Lの太物は、九州産地が太物中心だった影響もあり、加工筋からの引合いが弱く価格は弱めで推移している。 ごぼうの流通量は増えているが、本県産への売場作りが進んでいることから価格に大きな変化はなく、全体的に保合での価格帯で推移する見込み。
東北	本県産	4 k g A 3 L A 2 L A L A M	600~500 700~600 800~700 1,000~800	600~500 700~600 800~700 1,000~800			本県産の入荷量増と、本県地場市場の市況の下げの影響から、市況は弱含み推移。ただ、3L級などの加工向けは、一時荷動きは鈍かったが、回復しつつある。また、気温の低下と、価格を下げた中での販売から、荷動きは全体的に良好。 今後、徐々に本県産の増量が見込まれることから、市況は弱含み推移の見込み。

品名 だ い こ ん

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	北海道産 本県産	A 2 L A L	900~ 800 1,000~ 900	900~ 800 1,000~ 900	—	1本 148~158円 ハーフカット 78~88円	本県産、関東近在産の販売となっている。 週前半から千葉、神奈川県産の入荷が増え始め、本県産の入荷も安定した入荷となった。関東近在産については、台風の影響により品質低下が著しくB品、カット品の入荷が多いことからA品については荷動きはまずまずで、急激な単価の下げにはならなかった。 来週についても、今週同様の出荷が見込まれることから保合での販売となる見込み。
名古屋	本県産 北海道産 新潟県産	A 2 L A L	1,000~ 900 1,100~1,000	800~ 700 900~ 800		1本売り 198~158円	本県産および愛知・岐阜県産中心の販売となっている。 10月の長雨・日照不足から近在産の生育が遅れる中、台風の影響もあり今週前半までは入荷量が少なく、本県産への引合いが強かったものの、週後半にかけて後続の近在産も増加し、弱含みでの販売となった。 来週以降については、近在産が本格化する上、関東産についても徐々に増える見込みから、弱めの販売が見込まれる。

品名 こ か ぶ

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産	A3L A2L AL	1,000～700 1,400～1,000 1,000～700	1,000～700 1,400～1,000 1,000～700			<p>本県産中心の販売。 本県産は量を減らしながらの入荷となっているものの、売場が確保されていることと、他県産の減量により総体量が減少したため、全ての等階級で一段上げての販売となった。 来週については、本県産の入荷が大きく減少する予定となっているものの、価格は保合推移となる見込み。</p>

品名 ピ ー マ ン

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 兵庫県産 高知県産 宮崎県産	バラ AL 150g袋 AL	1,200～1,000 60～	1,200～1,000 60～			<p>本県産・兵庫県産・高知県産・宮崎県産（促成）の販売。 引続き、後続の西日本産が低温により増量が鈍く、東日本産が終盤から入荷量が減少しており、価格については強含みで推移した。 来週については、他産地の増量が予想されているため、価格は下げ基調となる見込み。</p>

品名 露 地 ね ぎ

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A2L AL	2,000～1,800 2,500～2,200	1,800～ 2,200～		<p>2L 1本 78円～ L 3本 168円～</p>	<p>東北各産地中心に、北海道、新潟、長野県産の販売。 各産地の入荷量自体はそれほど多くないものの、2L級の入荷比率が高まっている。また、これまで続いた高値の影響から売価も高く、荷動きも鈍化していることから、少しずつ価格を下げながらの販売となっている。 千葉、埼玉ともに強風による葉折れ等の被害により、下位等級品の入荷が増えている。東北各産地の入荷は順調なため徐々に価格を下げながら本県産の売場確保に努める。</p>

品名 にんじん

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	北海道	本県産					北海道中心に本県産の入荷となっている。 北海道産については概ね今週いっぱい主産地の出荷が終了し、千葉県産についても生育不良から総体量が少ないうえに、加工業務関係からの需要も高まっており一段上げての販売となっている。 関東近在産は台風被害や雨の影響から生育は停滞しており来週以降についても、不安定な入荷が見込まれることから保合からやや強めの販売となる見込み。
		A 2 L	800～ 600	800～ 600		L 1 本 33 円	
		A L	800～ 700	800～ 700			
		A M	1,000～ 900	1,000～ 900			
		北海道産					
		A 2 L	800～	800～		M 3 本 128 円～	
		A L	900～ 800	900～ 800			
		A M	1,000～	1,000～			
名古屋	本県産 北海道産	A 2 L	1,000～ 800	1,000～ 800			本県産・北海道産中心の販売となっている。 北海道産については、台風の影響で入荷が減少したうえ、低温・降雪の影響から出荷終了となる産地も出てきており、総体量の少なさから強含みでの販売となった。 来週についても、北海道産が徐々に減少していく中、後続の近在産は11月中旬からの入荷見込みのため、本県産は引続き一定の売場は確保できる見込みとなっている。
		A L	1,200～1,000	1,200～1,000			
		A M	1,100～ 900	1,100～ 900			
		A S	800～ 600	800～ 600			